

射撃訓練終了 砲撃総数1,137発(うち夜間140発)

10月31日18時10分、防衛局現地対策本部に問い合わせた結果、海兵隊移転訓練(砲撃訓練)はすべて終了したことを確認しました。

現地監視本部のカウントによる砲撃の総数は1,137発、うち夜間は140発でした。なお、前回2019年は、総数1,600発、うち夜間は218発でした。

10日間の射撃数(現地監視本部カウント)

	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日	計
08:30~12:00	8	0	49	20	35	107	15	141	4	34	413
12:00~16:30	1	4	107	28	62	100	130	0	74	79	585
日中計	9	4	156	47	97	207	145	141	78	113	997
19:00~21:30	13	66	0	10	41	0	10	0	0	0	140
合計	22	70	156	57	138	207	155	141	78	113	1,137
監視活動参加者	13人	18人	13人	15人	15人	11人	15人	11人	18人	18人	147人

質問に答えよ！再三の求めに「待ってくれ」の繰り返し

解せないことが多い移転訓練です。まず、発射音の極めて小さい射撃です。22日の午前中と23日の夜間に現地監視本部はその「現象」を確認しており、今回初めて持ち込んだ高機動ロケット砲システム(HIMARA=ハイマース)の射撃ではないかとの疑念を持っています。それについて次のように質問し、納得のいく回答がない限り、私たちの疑念は晴れない。速やかに回答するようにと求めています。※25日午後に電話で質問

質問(1) 発射音がほとんどしないが風切り音と着弾音がする射撃があった。そのように発射音がほとんどしない155mmリゅう弾砲があるのか。

次に「野火」についてです。※27日午後に電話で質問

質問(2) ①「野火」を起こさないための対策はとっていたのか。とっていないとしたらなぜとらなかったか。②とっていたとしたらどのような対策をとったのか。③対策をとったにもかかわらずなぜ「野火」が発生したのか。④「野火」の発生したところは「弾着地付近」と説明されているが具体的にはどこか。⑤消火に当たったヘリの機数と飛んだ回数を答えてほしい。

この質問に対して回答がないので、再三に渡って速やかに回答するように求めています。防衛局は、いまだに「現在調査中。急いでいるがもう少し待ってほしい」を繰り返しています。そんなに難しい質問でしょうか？

抗議と監視の活動は完全撤退(11月中旬)まで続きます